

食の農学科群

サツマイモの収穫！

「総合実習」では、野菜・果樹・食品加工・基礎実験の4分野をローテーションで学習します。「野菜」の実習では、季節野菜の基本的な栽培管理について広く学んでいます。秋野菜では、ダイコンやサツマイモの播種や収穫を行いました。今年は、適度なサイズ感のサツマイモを多く収穫することができました。安納芋、紅はるか、シルクスイート、パープルスイートロード、鳴門金時5品種の特徴の違いについて学習しました。



花と緑の農学科群

竹はし作り

1年生の総合実習は、草花栽培・草花活用・森林保全・身近な環境の4分野に分かれて実習をしています。学校周辺の竹林を手入れした際に発生した竹を利用しました。クラフトナイフで少しづつ削りながら形を整えました。竹の成長速度や開花周期など竹の生態についての知識についても学習しました。



生産科学科

今年もたくさんのナシの収穫・出荷を行いました！



総合実習の果樹部門でナシの栽培管理を行っています。今年も「豊水」をはじめ、人気の「あきづき」、「新高」とたくさん収穫することができました。ここ数年、ナシが秋の残暑に耐え切れず実が落ちてしまうことがありましたが、今年は収穫する順番を変えるなど工夫をし、多くのナシをお客さんにお届けすることができました。これから冬に向けて、剪定などの管理が始まりますが、来年の収穫に向けて今から頑張って管理を行います！

食品科学科

第1回全国発酵甲子園 高校生ピッチコンテスト

宮城県富谷市で開催され、3年生の代表者が参加しました。高校生が自分の住んでいる街の発酵食品や発酵文化のすばらしさを発信するものです。地元の発酵文化を全国へ広めるきっかけにしようと応募し、見事に予選を突破、最終審査へと進むことができました。最終審査では最後まで恵那市の発酵文化の魅力を伝えることができました。さまざまな地域の発酵食品について知ることができ、有意義な機会となりました。



環境科学科

実験林間伐実習

3年生の実習は少人数の専攻班に分かれて学習に取り組んでいます。写真は実験林の管理に取り組む専攻班が、実験林内のヒノキを間伐している様子です。3年生は夏休みにチェーンソーを安全に使えるよう講習を受けました。伐倒した後は、材として使えるように枝を切り落とし、自然乾燥を経て後輩の実習の材料にも使っています。



園芸科学科

第23回 日比谷公園ガーデニングショー 2025 ガーデンコンテスト「ライフスタイルガーデン部門」 東京都知事賞受賞

10月18日～10月26日までの9日間、東京都で開催された「日比谷公園ガーデニングショー」において、園芸科学科が制作した庭園「再会の約束 Regenerating garden」がライフスタイルガーデン部門において東京都知事賞を受賞しました。



花と緑の優れたデザインや演出等をそれぞれが創意工夫し、作品が完成しました。これからも様々な分野での活躍を目指していきたいです。

文化祭

10月末の2日間、文化祭では全クラスが熱のこもった演示を披露しました。今年のテーマは「あい」。食への飽くなき愛や家族愛、友愛などテーマに沿って様々な愛の形を表現しました。



2年生 沖縄修学旅行

10月7日から3泊4日で沖縄へ行きました。初日の平和学習から最終日の生活・文化・歴史を学ぶ日まで、非常に学び多き修学旅行となりました。

【生徒の感想】

- 80年前の人々の苦労と生活の大変さが身に染みました。これからの時代、絶対に戦争がない時代にしたいと思いました。
- グループの仲間ときり楽しみました。沖縄のハンバーガーが食べごたえがありました。沖縄の歴史や食文化を学べてよかったです。
- 時間行動の大切さや挨拶をすることで相手の気持ちを明るくするんだなと今回の旅行で学びました。



農業クラブ全国大会出場

10月21～23日、農業クラブ全国大会西関東大会が開催され、4名の生徒が農業鑑定競技会に出場しました。農業鑑定競技会は、日頃の農業クラブ活動で得た学習の知識を競い合う競技です。日頃から学習を積み重ね、その成果を発揮した結果、3年の村上愛実さん（生産科学科）が区分果樹において優秀賞を受賞しました。来年度は南四国大会です。多くの生徒が全国の舞台を目指して頑張ってほしいです。



進路指導部

「1年生職種別進路ガイダンス」

恵那市内で働く方々から仕事の話を聞き自分の進路について考えるためのガイダンスを実施しました。当日は20事業所32名が来校されました。「就職する際どんな職種が選択できるの」「やりたい仕事に就く方法は」など、1年生は初めて就職について具体的に考える機会になり、自分が希望する職種の話を真剣な表情で聞く姿が印象的でした。

